

○ 「デザインシティ旭川」 デザイン振興の歩み
ー 「デザイン振興政策アーカイブ」 公開インタビュー

主催 「デザイン政策アーカイブ」研究プロジェクト
旭川デザインセンター
あさひかわ創造都市推進協議会

日時 2020年5月28日 木曜日 17:00 ~ 20:00

場所 旭川デザインセンター

プログラム

1・イントロダクション

「デザインシティ認定とこれからの課題」 渡辺直行

「デザイン振興政策アーカイブの試み」 黒田宏治

「旭川のデザインの歩みー長原實さんの軌跡を振り返る」 旭川デザインセンター

2・アーカイブ公開インタビュー

旭川のデザイン振興を担われた方々へのインタビュー

渋谷邦夫 東海大学旭川キャンパスの果たした役割

佐々木恵一 旭川市役所の取り組みー開基100年事業を中心に

川上元美 旭川デザインコンペの国際的な評価とその果たした役割

渡辺直行 旭川デザイン 家具産業の軌跡

聞き手 黒田宏治

3・ディスカッション「歩みを引きつく」

司会 青木史郎

終了後 懇親会

○ 開催にあたって

旭川は「ユネスコ創造都市・デザインシティー」に選ばれました。創造性は今も昔も都市の発展を導く鍵。新しい時代を率先して開拓していく役割が、いま旭川に期待されています。

「デザインという言葉に冠した研究会」が、旭川で生まれたのは1957年と聞きました。丁度この年に「グッドデザイン賞」が設立されます。そして翌年には、通商産業省は「デザイン課」を発足させ、本格的にデザインの振興に取り組んでいきます。日本のデザイン行政・振興活動の歩みと、旭川のデザインは同じ月日を重ねているのです。

「デザイン振興政策アーカイブ」は、日本のデザイン行政・振興活動についての文献資料を整理し公開する活動です。こうした研究の視点からみて、旭川における半世紀を超えるその活動は、とても貴重であり、また未来への示唆に富んでいると思われます。そこで日本デザイン振興会の理事でもある渡辺直行さんにご相談し、旭川デザインセンター、あさひかわ創造都市推進協議会のご協力を得て、旭川のデザイン振興の歩みをお聞きする会を開催することとなりました。

旭川の成功は、デザインの振興活動が家具業界、つまりデザインを常に必要とする当事者によって継続的に担われてきたことにあると考えられますが、旭川市と東海大学を始めとする教育機関がそれを支え続けてきたことも、同時に大きな要因になっていると思われます。

そこで今回の催事では、東海大学旭川キャンパスで永年にわたり教鞭をとられてきた渋谷邦夫さん。旭川市役所においてデザイン行政をも担当され、特に開基100年事業等を担われた佐々木恵一さん、そして家具企業の経営者であり旭川デザインを第一線で担われた渡辺直行さんにご出席いただき、夫々のお立場から旭川のデザイン振興の歩みをお聞きします。さらに日本を代表するインテリアデザイナーであり、旭川デザインコンペの審査員を長年務められてきた川上元美さんをお招きし、国際的な視点からみた旭川デザインについてお聞きしていきます。

「デザインシティ旭川」には、これまで培われたきた「もののデザイン」を基調に、デザインという創造性に富んだ思考を、「私達の幸せを探る思想・方法論」へと大きく育てていくこと、またそれを新しいモデルとして、世界に向けて発信していくことが求められているように思います。

今回の催事が、「デザインシティ旭川」のスタートの一助ともなれば幸いです。

「デザイン振興政策アーカイブ」研究プロジェクト

○ 「デザイン振興政策アーカイブ」研究プロジェクト

デザイン行政や振興の研究者である黒田宏治（静岡文化芸術大学）と日本デザイン振興会において永年デザイン振興活動を実践してきた青木史郎を中心とする研究ユニット。科学技術研究費の補助やデザイン振興会の支援を得て2018年から活動を開始。通商産業省（経済産業省）や日本デザイン振興会の進めてきたデザイン行政・振興政策についての文献資料を整理し公開する活動を進め、特に19年後半からは、デザイン振興活動をになった方々へのインタビューも開始している。

<https://design-archives.jp/>